Server Protection マイグレーション

2019/11/15

本書は以下の英語記事の日本語版です。合わせてご参照ください。

Server Protection Migration

マイグレーションのゴールと利点

Server Protection マイグレーションのゴールは以下の通りです。

- ソリューションプロバイダ様 (L3)、サービスプロバイダ様(L2) もしくは、企業アカウント (L1) のお 客様に対して、ご利用中の PSB サーバセキュリティ製品から最新の PSB Server Protection 製品へ マイグレーションするためのコントロールされたプロセスを提供すること。
- アップグレードがエンドユーザ様に対しスムーズで、かつ、業務影響を与えない方法であること。
- アップグレードプロセスの前後でデバイスのセキュリティレベルが同じになるように、アップグレードプロセスの間はセキュリティ設定(プロフィール)を変更変更しないこと。
- きめ細かいプロセスを使って、特定の時間にアップグレードを実施するための簡単な手段を提供する こと。

ハイライト:

- デバイスにまだ割り当てられていないすべてのプロフィールを2019年7月31日に、プロフィー ル項目における"サーバセキュリティ"のタブの一覧表示から見えなくしました(サーバのプロ ファイルの検索を容易にするためです。非表示にしただけで削除した訳ではありません)。
- ステージ1 プロフィール移行 個々のプロフィール毎に SOP (L3) / SEP (L2) /企業アカウン
 ト (L1) の管理者が利用できるようになります。
- ステージ2 チャネルアップグレード 個々のライセンスキー毎に SOP (L3) / SEP (L2) /企業 アカウント (L1) の管理者が行うことができます。 管理者は、チャネルアップグレードを一旦有効 にした後でも、チャネルアップグレードの開始前であれば、ライセンスキー単位でチャネルアップ グレードを無効にすることもできます。 このチャネルアップグレード自体は、PSB ワークステー ションセキュリティから PSB Computer Protection へのチャネルアップグレードと同じ方法で、 サイレント、かつ、再起動なしで行います(お客様のご利用環境によっては、例外的に再起動が必 要になる場合がありますのでご注意ください)。操作方法を紹介した英文ビデオを用意しました。

デバイスに割り当てられていないすべてのプロフィールを 2019 年 7 月 31 日に "サーバーセキュリティ" タブの一覧から隠す

あるプロフィールが、PSB サーバセキュリティ、または、PSB ワークステーションセキュリティのどちらの 製品のプロフィールであるかどうかを知る方法はありません。このため、未だデバイスに割り当てられてい ないプロフィール、または、企業アカウント (L1) やソリューションプロバイダー (L3) のサーバセキュリ ティプのデフォルトプロフィールはすべて非表示にしてあります。 これにより、サーバ用プロフィールとし て移行したいプロフィールを見つけるのが簡単になります。

2019 年 7 月 31 日以降にお客様が必要としていたプロフィールが見当たらなくなった場合は、弊社サポートセンターに連絡してください。

管理者権限を持つお客様は、いつでもプロフィール移行とチャネルアップグレードを実行できますので、プロフィールのクリーンアップを待つ必要はありません。

注意: 既にデバイスに割り当てられているプロフィールのすべての親プロフィールも同様に表示されたまま にします。

ステージ1:プロフィール移行 (英語ビデオ)

これは、サーバセキュリティ製品用の既存プロフィールが新しい Server Protection 製品用のプロフィール に移行されるステージです。

 プロフィールの移行プロセスは、既に利用中のサーバセキュリティ、または、その使用中のプロ フィールには何も影響を与えません。移行された新たなプロフィール名がプロフィール項目の Server Protection タブ内に作成されるだけです。

自分自身が所有者であるプロフィールに対する[サーバセキュリティ]タブから [Server Protection] タブへのプロフィール移行のみをサポートします。

各プロフィールの後ろの「...」アクションボタンには、「Server Protection にプロフィールを移行」オプ ションが用意されています。

Computer Protection for Windows	🚆 Computer Protection for Mac 🛛 🛐 Ser	ver Protection 🛛 🗮 サーバ セキュリティ		
こで表示されているプロフィールは 2018/	08-Computer Protection-Evaluation-Account の範囲内に	表示されます。		
< プロフィール一覧を隠す				
レートプロフィール	一般設定	一般都定		
> Laptop (open)	ウイルスのリアルタイム スキャ	12.RX.NL		
Office (open)	×	ユーザが F-Secure のセキュリティ機能を無効に ?	することを許可	
ワークステーションのデフォルト シ Server	マニュアル スキャン	ローカルでの F-Secure 製品の アンインストール	を許可 ?	ローカル アンインストールを許可
サーバのデフォルト	スキャンから特定のファイルを 除外			
¥ XYZ	ブラウザ保護	WMIプロバイダ	?	\bigcirc
222		ールを作成する		
	プロフィールの名前と説明を変更	トをダウンロードする前に確認する	?	いいえ
	Server Protection にプロフィールを移行			
	プロフィールを削除	ヤスト クライアント	?	\bigcirc
	ワークステーションのデフォルト プロフィ	ールとして設定 ャストサーバ	?	\bigcirc
	サーバのデフォルト プロフィールとして設	定	2	12110
	ユーザによる変更を拒否する			12110
	っ ギュレス本事を読みまえ	キシを使用	?	ブラウザの設定を検出

プロフィール移行の結果は以下のいずれかとなります。

- プロフィール移行成功。(何もする必要はありません)成功した場合、新しいプロフィール名は "元のプロフィール名"+"-migrated"となります。
- プロフィール移行成功 ただし、プロフィール設定内に競合があるため、以下の手順に従ってそれらを解決する必要があります。
- プロフィールは既にプロフィールへのリンクとして移行されています。この場合、再度移行したい場合は、以前に移行したプロフィールを Server Protectio プロフィールのタブのリストから手動で削除する必要があります。

移行後に企業アカウント用の Server Protection のデフォルトプロフィールを手動で定義する必要があります。

注意: Server Protection 製品には Computer Protection と同じように Windows ファイアウォールをリ モート管理するファイアウォール機能が新たに追加されます。しかし、サーバセキュリティ製品には ファイアウォール コンポーネントがないため、サーバセキュリティで使用していたプロフィールでの ファイアウォールの設定やルールは全て新しい Server Protection のプロフィールには移行しませ ん。代わりに、F-Secure によってファイアウォールがあらかじめ無効に設定されている Server Protection のデフォルトプロフィールのファイアウォールの設定値を全て継承します。 これ は、"[ファイアウォール]> [F-Secure ファイアウォールプロファイルの適用]" 設定を使用して行い ます。

プロフィールの競合

プロフィールの移行後にこのプロフィールの競合状態になった場合は、スケジュールスキャンのタスクの設 定が適切であることを確認する必要があります。

スケジュール設定されたスキャンタスクに複数のスキャンタスクが設定されている、または、Server Protection 形式に変換できないフィールドを含むタスクが設定されている場合、プロフィールの競合状態に なります。Server Protection では1つのスキャンタスクしかサポートされていないため、項目の不一致が 少ないスキャンタスクをマイグレーションします。

また、Server Protection 製品には、サーバセキュリティ製品とは異なるスケジュールスキャン機能があり ます。 主なケースは次のとおりです。

ケース 1: マイグレーションする以前のサーバセキュリティのプロフイールに、以下のような2つのスケ ジュールされたタスクがある場合

> 毎週月曜日の 9:00 に実行する 毎日 12:00 に実行する

新しい Server Protection プロフィールでは、毎週と毎日のどちらかのタスクを選択する必要があります。 同時に両方を使用することはできません。 また、複数の実行時間を定義することはできないため、9:00 と 12:00 を組み合わせることはできません。

つまり、このケースではマイグレーションできるのはどちらかのタスクだけとなります。

ケース2:次のようなオプションを持つタスクがある場合

システムが 30 分間アイドル状態になっている場合、9:00 に 1 回実行

Server Protection プロフィールでは、1 回だけ実行することはできません。利用可能なオプションは、毎日、毎週、毎月だけです。 また、時刻とアイドル時間のオプションを組み合わせることもできません。いず れか一方を選択する必要があります(前の例の毎週と毎日のように)。 従って、実際にはこのタスクは、その周期、および、時刻/アイドル時間のオプションを変更せずにマッピングできません。また、古いプロフィールに複数のタスクがある場合は、競合がより少ない別のタスクに優先してスキップしたりすることも できません。

Scheduled scanning tasks ?	5			
Add task				
Name	Scheduling parameters	Task type	Task type specific parameters	
Scan 1 for Local Drives	/t18:00 /ti30 /b2001-10-15 /	Scan local drives		×
Scan 2 for Local Drives	/t18:00 /b2001-10-15 /rwee	Scan local drives		×

移行中に競合が発生した、サーバセキュリティのプロフィールにおけるスケジュールスキャンのタスクの例

競合の解決方法

移行を行ったサーバセキュリティのプロフィールの1つにスケジュールスキャンのタスクの競合が含まれて いる場合は、上記のようにプロフィール内のセクションがハイライト表示されます。必要な変更を行ってか ら、「同意して公開」ボタンをクリックすることで競合が解決したことになります。

ステージ2 - チャネルアップグレード

古いサーバセキュリティ製品から新しい Server Protection へのアップグレードを手動で行うことができま す。手動でアップグレードを行うには、既存のサーバセキュリティがインストールされているサーバにおい て Server Protection のインストーラ EXE を実行して、サーバセキュリティ製品を Server Protection 製 品に手動でアップグレードできます。

この手動アップグレードでは古いサーバセキュリティ製品は自動的に削除されますが、再起動が要求されますのでご注意ください。再起動後に Server Protection 製品のインストールを続行します。

- サーバセキュリティに割り当てられていたプロファイルが既に移行されている場合、移行した Server Protection プロフィールが適用されます。
- サーバセキュリティに割り当てられたプロファイルがまだ移行されていない場合、当該企業アカウントの Server Protection のデフォルトプロフィールが適用されます。

また、手動アップグレードの代わりにお客様が以下のことを行えるようにする機能がチャネルアップグレードとして PSB 管理ポータルで提供されています。

- PSB ワークステーションから新しい Computer Protection へのアップグレードと同じように、
 動かつ
 サイレント
 にアップグレードを行う(お客様のご利用状況によっては他の要因で再起動が必要になる場合がありますのでご注意ください)。
 - サーバセキュリティに割り当てられていたプロファイルが既に移行されている場合、移行した
 Server Protection プロフィールが適用されます。
 - サーバセキュリティに割り当てられたプロファイルがまだ移行されていない場合、当該企業アカウントの Server Protection のデフォルトプロフィールが適用されます。
- 同じ1つのライセンスキーに属するすべてのサーバに対して特定の時間にアップグレードを行う。

これは以下の様に機能します。

- PSB 管理ポータルの「ライセンス」項目に移動し、Server Protection のライセンスキーの [...] ボタ ンをクリックします。「チャンネルアップグレードを有効にする」操作を選択します。 これにより、 このライセンスキーを使ってインストールされたすべてのサーバセキュリティのアップグレードが直 ちに有効になります。
 - 注意: PSB 管理ポータルのライセンス表示上は、サーバセキュリティは Server Protection と表示されますので、ご注意ください。

ホーム デバイス	201808-Computer_Protection-Eva	FS-Partner-Tes	ting 🗸 📖			
ソフトウェアの アップデート	ライセンス 💮					?
パスワード	劉品 🛇	ライセンス キーコード	タイプ 🗘	使用方法 🔷	有効期限 🔷	
E	Computer Protection Premium		評価	2 / 10	継続	\odot
⊏_ 8 ∋⊀±≻x	Server Protection		評価	1/5	継続	\odot
プロフィール ダウンロード サポート アカウント フィードバック					削除されたコンピュータの- チャネル アップグレードをす	-覧を消去する 効にする

それらは次の1時間以内に自動的にアップグレードが開始されます。これをスピードアップしたい場合は、直ちにアップグレードしたいサーバセキュリティのデバイスに対し「ステータスアップデートを送る」操作を行うか(①)、

										coung v	000
デバイス	17台のディ	ベイス					(<u>ک</u>	ンピュータを検索		?
ソフトウェアの アップデート	分別されたコンピュータ: 1	モバイル デバイ	スをフィルタリ	リングする				製品の	種類: サーバ ▼	カテゴ!	!: 概要 ▼
パスワード											
レポート	■ ^{デバイ} ス名 [・]	企業名 🗘	全体保護 🛇	Rapid Detection and Response	マルウェ ア保護	ファイア ウォール	自動 更新	ソフトウェアの アップデート ◇	指定プロ フィール ◇	操 作 ^公	ラ ペ ☆ ル
プロフィール	win-87r82 🛱 20180 ppigsh tion-)8-Computer_Protec Evaluation-Account	● 保護さ れています	-	有効	未インストール	最新	重要なアップデートは インストール済み	Server	0	
ダウンロード											
サポート											
アカウント											
フィードバック											
	1台のデバイスた選択」	≠ 1.≁									×
	ステータス アップデー	- ŀ を	スキャン	✓ y7ト	ウェアアップ	デート	指定	×	デバイスを削	余する	
F-Secure. v. 1.0.1782	ネットワークの隔	難 🖌									

または、サーバセキュリティのデバイスにて「更新を確認する」ボタンを押してください。(②)

		F-SECURE SERVER SECURITY	
自動更新	Ť		admin ログ アウト ② ?
ホーム	全般 ダウンロード		
・サーハ1味酸 リアルタイム スキャン ブラウザ保護	※ 統計情報		
マニュアル スキャン ファイルの隔離保存デー	チャネル名	RDP	更新を確認する
ソフトウェア アップデーター	テヤイル ノトレス 前回のアップデ <i>ー</i> ト	F-Secure DeepGuard Update 2019-11-05_01	自動アップデートログを表示
設定	前回の確認時間 前回の確認(結果)	2019/11/06 10:05:13 新しいものはありません	
管理 サポート	次回の確認時間	2019/11/06 11:05:13	
	前回の確認時間 (成功)	2019/11/06 10:05:13	
	※ 🖯 自動更新)	
	バターン ファイルの更新		
	インターネット接続の確認:	常に接続済みと想定	~
	ブロキシを使用する:	ブラウザの設定を使用する	~
F-Secure	ユーザ指定のプロキシ:		

(1)、(2)の操作を行わなかった場合、「次回の確認時間」(前回の確認時間から1時間後)に更新の確認が行われ、そのタイミングでアップグレードが自動的に行われます。

開始したチャネルアップグレードをキャンセルしたい場合は、管理ポータルの当該ライセンスキー対し 「チャネルアップグレードを無効にする」を選択してください。チャネルアップグレード前であればいつで もキャンセル可能です。キャンセルした場合は、再度有効にすることで再開可能です。

201808-Computer_Protection-Evaluation	FS-Partner-Testing 🗸 🏢				
ライセンス 💮					?
· 최문	ライヤンス キーコード	タイプ 〇	使用方法 🔿	有効期限 ヘ	
Computer Protection Premium	A5OG-D8C0-PG27-FLF2-VDZP	評価	2 / 10	維続	
Server Protection	GLON-LK9J-ACPK-5L0G-HM5U	評価	1/5	維続	$\overline{\bigcirc}$
				削除されたコンピュータ	ダの一覧を消去する
				チャネル アップグレー	ドを無効にする
	201808-Computer_Protection-Evaluation うイセンス () MAR () Computer Protection Premium Server Protection	201808-Computer_Protection-Evaluation-Account > ライセンス () MA () F4tンスーート Computer Protection Premium ASQG-DBCD-PG27-FLF2-VD2P GRUN-LK9J-ACPK-SL0G-HMSU	201308-Computer_Protection-Evaluation-Account > うてていていていたいでは、 <u>またたいたいでいたいでは、それたいでいたいでいたいでいたいでは、それたいでいたいでいたいでいたいでいたいでいたいでいたいでいたいでいたいでいたいで</u>	201308-Computer_Protection-Evaluation-Account > うんとしている。 <u> 本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本本</u>	<section-header> 201908-Computer_Protection-Evaluation-Account E-Pertner ライセンス ・・・ ・</section-header>

プロフィールマイグレーションとチャネルアップグレードのフェーズに対する今後の改善

お客様からのフィードバックに基づいて、プロフィールとチャネルアップグレードのリストをライセンス キーのリストにマイグレーションする機能の提供を検討する予定です。

既知の問題点

チャネルアップグレードによるネットワークバンド幅への影響

チャネルアップグレード中、新しい Server Protection 製品のクライアントをダウンロードする必要があります。1台あたりのダウンロードするサイズは150 MBより少し小さいのですが、多くのアップグレード対象のサーバセキュリティのサーバが低速リンクのネットワーク内に存在する場合、ダウンロードする全体のサイズが結果的に大きくなるためにネットワークの速度が低下する可能性があります。この問題を解決するには、F-Secure エンドポイントプロキシと通常のHTTPキャッシュプロキシを導入する必要があります。Server Protection 製品と関連データベースをキャッシュすることで、ネットワーク帯域幅使用量を大幅に削減できます。

チャネルアップグレードにおいて、コンピュータが自動的にアップグレードされないことがある。この場合、アップグレードするために行うことができるいくつかのアクションがあります。

不足しているソフトウェアの更新をインストールする:古いバージョンのオペレーティングシステムでは、多数の重要なセキュリティ更新プログラムがインストールされていないために、コン

ピュータが更新されないことがあります。この場合、通常、不足しているセキュリティ更新プログ ラムをインストールすることによって解決されます。例えば、PSB 管理ポータルにてデバイスリス トでコンピュータを選択し、"ソフトウェアアップデートをインストール" 操作を使用します。

- 空きディスク容量を確保する:正しくアップグレードするには、お使いのコンピュータに最低
 600MBの空きディスク容量が必要です。
- ライセンスキーの空きを設ける:ライセンスキーが全て使用中の場合、アップグレードが妨げられたり、遅くなったりすることがまれにあります。未使用のコンピュータがある場合は、PSB 管理ポータルで"デバイスを削除する"操作を使用することをお勧めします。
- 再起動する:場合によっては、新しいクライアント製品は再起動後にのみインストールされます (再起動待ちとなっていますが、アップグレード自身では再起動をトリガーしないため)。
- そのまま待つ: F-Secure では古いクライアントに対するチャネルアップグレードを定期的に再試行 させています。クライアントは3回アップグレードを試み、次のトリガーを待ちます。

アップグレード後にコンピュータがライセンスキーを登録できない

"自動ルート証明書の更新を無効にする"設定が有効になっている場合、Server Protection インストーラで使用されるルート証明書が更新できません。詳細については、以下の英文 Knowledge
 Base を参照してください。

Installing Server Protection fails or the installation does not show up in the PSB portal if the root certificates are not up to date

以上